

アホウドリ新繁殖地形成事業によって聳島に移送したヒナの死亡について

<環境省自然環境局 同時発表>

平成 24 年 3 月 8 日(木)
(財)山階鳥類研究所

むこじま

小笠原群島聳島におけるアホウドリの新繁殖地形成事業（伊豆諸島鳥島のアホウドリのヒナを小笠原群島聳島に移送し、新しい繁殖地を形成する事業）において、平成 24 年 2 月 11 日に鳥島から聳島に移送し、人工飼育中だったアホウドリのヒナ 15 羽のうち 1 羽について、現地で人工飼育を行っている(財)山階鳥類研究所の職員が、本日午前 8 時に死亡を確認しましたのでお知らせします。

※新繁殖地形成事業は、(財)山階鳥類研究所が、環境省、米国魚類野生生物局、三井物産環境基金、公益信託サントリー世界愛鳥基金等の支援を得て実施しているもので今年度が 5 か年目（移送は最終）となります。

1. 死亡個体 個体番号 Y72（性別未判定、推定約 60 日齢）
2. 発見年月日 平成 24 年 3 月 8 日(木) 午前 8 時
3. 発見場所 小笠原群島聳島（人工飼育実施場所）

4. 発見時の状況

死亡したヒナは、前日の給餌時までは体調の異常を感じさせる様子は見られませんでした。本日飼育地に訪れた時には、うつ伏せの状態でした。死亡したヒナを触診したところ、胃と嘴の中には大量の餌が残っていました。

5. 死亡原因

他の飼育雛には体調異常が見られないことから、感染症の疑いは小さく、何らかの事故的な原因により吐き戻した餌が気管内に混入し、窒息死した可能性があるかと推察していますが、現時点では詳細は不明なため、本土に移送の上、検死解剖を行い、結果を報告いたします。

- 移送当初のアホウドリのヒナの写真（平成 24 年 2 月 11 日撮影。死亡個体ではありません）



写真提供：(財)山階鳥類研究所

この件についての連絡先

(財)山階鳥類研究所 (270-1145 我孫子市高野山 115)

事務局広報主任 平岡考

電話：04-7182-1101（時間外：04-7182-1104）Fax:04-7182-1106

メール：hiraoka@yamashina.or.jp